

しく優越的となるであらう。歐洲の軍縮會議は何等實蹟が上らずこのまゝにすゝめば、極力武備を張るものが世界中で最も安全な國になるのではないか。米國の提議した不戰條約案も最新米佛兩國の間のみであるならば、一方佛國には聯盟規約があつて、戰爭を以て平和維持の基調としてあるけれども、今度米國の提議によつて英佛獨伊が相互的戰爭廢棄の宣言に於て米國に加擔したとすれば、數年の後獨逸が波蘭からダンチヒを回收するために武力に訴へたとき、佛國は萬事休することになる、伊太利とユーゴスラヴィアとの間の問題も再燃して兵を動かした時佛國は手が出せぬことになる。蓋し歐洲相互の間に如何様の外交の複雑があつても米國は知らざる眞似をして、海軍擴張に著手すると同時に不戰條約を提議し從來の聯盟を殆ど粉砕したかに見える現状ではないか。急速に膨脹せる米國の實力の前に歐洲自身は全然無力なるを感じつゝある。歐洲は一單位でなく、傳統的嫉視反目によつて分裂してゐると共に何れも米國にて將來借款を起すことに腐心する國々である。従つて事米國一關する限り默従の外はないのが實際である。茲に於て對米反感をもつ國々は周章と恐怖を混入して米國の南米政策を疑ひ、米國は新大陸全體を米國のみの私有財産視せんとする肚をもつと注意しだしてきた。

極東の平和に對しても、米國はいかなる問題を掲げて日本に向つてくるであらうか。(國際時報三の一〇より抄録)

### ○ブラジル糖業の副産物ウズガ

ブラジル糖業の副産物として燒酎がつくられる。これをカソリン代用としてエーナルを温めて利用すると發火、爆發共にカソリンに優る、之を製造する會社の名の頭字をとつて *Dasea* といつて賣り出してゐる。レシフェ及マセオにてカソリン一立が九百レイスで賣られるに對して五百レイスの價で供給してゐる。ヘルナムア州政府では所有自動車の半數を動かしてゐる。これは數年來政馬で使用されてゐるものと原理は違はぬらしいがヘルナムア州では二三年來糖蜜の利用引合はず、之を川に流したのもある有様であつたのに、此新利用法が発見されて製糖家に福音を齎らしてゐる。右の製造工場はセラ・グランデに只一ヶ所あるのみで他の州では利用されてゐないけれども、石油に恵れない伯國に取つて大なる利益とされてゐる。我國に於てもかうした方面の研究が望ましい。

### 質疑應答

【問】 オデッサ港の近況 島根 T 生

【答】 この港は一七九三年に選定され、一七九四年九月起工、一八〇三年以後擴張一八六六年築港、當時外國船の來訪せるもの毎年千三百七十隻を超へ、沿岸航行船は二千隻に上り、商港の發展に伴ひ市の設備も改善せられ花崗岩の鋪石路は自慢の種となれり、浚渫事業は十九世紀の四十年代より一九一四年歐洲戰爭の開始期まで繼續、一九二二年復活現今

は戦前よりも棧橋の數と共に深さも増加し港内吃水三十二呎までの船の出入に適す。港内地域二十二萬六千二百平方サーセン、繫泊沿岸線七千米突繋船所五十五ヶ所の中外國航路部二十二ヶ所に達す、倉庫は一六、九二五平方サーセン、油類收容の油槽は五百萬布度の能力を有し。冷蔵庫起重機十個、石油輸送管其他設備すべて可良なり。但しその復興は革命時代をへて、殆ど無より復活したもにして、一九二〇—一九二二年間は出入船舶皆無、港は一旦死滅したりしが、一九二三年以後徐々に貿易を快復せり、即一九〇九年には三、七八一、四〇〇噸の貨物を出入したるに、一九二三年度は僅に六九二、八〇〇噸即戦前の一八%を出入したるに過ぎず、一九二六年度も六四八、一〇〇噸、即一七%にしか上らぬ現状である。貿易價格も昔は四億六千萬留比に上つたのに今は一億八千萬留内外である。輸出の重なる穀物の出廻りの激減したるは、地方農民の仕事が變化したため、従前の如く輸出耕作物小麦に専らならずして國內消費の農産物をつくるためである。黒海沿岸の諸港の中バツムが戦前の十一割八分四厘、ノヅオラシースクの九割八分四厘、ボツチの七割五分の回復率に比しオデッサが僅に一割五分一厘に止まるのは誠に遺憾である。バツウム及ノヅオラシースクの發達の早きは石油類の急激なる増加による。ソヴィエツト共和國はまだ十分な政治が出来てゐないと見てよい。(F)

【問】一九二七年世界石油産額を承りたし

大阪石油生

國別	數量(單位千バレル)	百分率
世界産出額	一、二五四、一四五	一〇〇%
北米	九〇五、八〇〇	七二、二三
ロシヤ	七二、四〇〇	五、七七
ベネズエラ	六四、四〇〇	五、一五
メキシコ	六二、二〇〇	五、一二
波斯	三六、八〇〇	以下略
ルーマニア	二六、一〇〇	
東洋印度	二一、四〇〇	
コロンビア	一四、六〇〇	
ペリユー	九、八〇〇	
亞然丁	八、七〇〇	
英領印度	八、二〇〇	
波蘭	五、八〇〇	
トリニダート	五、二〇〇	
サラワク	五、〇〇〇	
日本	一、七〇〇	
カナダ	一、二七〇	
佛領埃及	五二五	
獨逸	七〇〇	
エグアドル	四五〇	
権太	二〇〇	
チエツコスロバキア	一四〇	
伊太利	六〇	

以上